

( 多良木高等 ) 学校 平成 2 9 年度学校評価表

**1 学校教育目標**  
くまもとの教職員像の教育行動指標である「認め・ほめ・励まし・伸ばす」を全ての教育活動の基盤とし、校訓「平和・勤労・進取」を背景に、社会人としての基礎をつくる。  
そして、「志高く キラリ輝く『多高生』～夢・汗・涙”感動体験”～」のキャッチフレーズのもと、学校を人間成長の場と位置づけ、様々な「感動体験」を通し、「豊かな心」を育み、「生きる力」を身に付けさせる。  
更に、生徒一人一人の教育的ニーズに応じて指導し、進路目標の達成のために学力向上を中心とした取り組みを実践するとともに、社会に貢献できる人材の育成を図る。  
併せて、「地域に根ざし、地域に開かれた学校づくり」を積極的に推進し、「地域から愛され、地域から信頼される学校」を目指す。

**2 本年度の重点目標**

1 求める生徒像  
(1) 基本的生活習慣が確立できる生徒  
(2) 自ら意欲的に学ぶことができる生徒  
(3) 夢や希望に向かって努力する生徒  
(4) 「個」を大切に、「公」も大切にする生徒  
(5) 地域を知り、地域に貢献できる生徒

2 努力目標  
(1) 自らを律する力の育成  
(2) 学力の向上  
(3) 進路希望の達成  
(4) 豊かな人間関係、コミュニケーション力の醸成  
(5) 心身の健康増進  
(6) 個に応じた指導の徹底  
(7) 情報化社会に対応する能力の育成  
(8) 地域に開かれた教育の充実

| 3 自己評価総括表 |       |                              |   |  |    |   |
|-----------|-------|------------------------------|---|--|----|---|
| 評価項目      |       | 評価の観点                        | 具体的目標   | 具体的方策  | 評価 | 成果と課題   |
| 大項目       | 小項目   |                              |   |  |    |   |
| 学校経営      | 学校活性化 | ○生徒及び地域に取って魅力のある学校となっているか    | ○生徒の転退学者等の進路変更を1人も出さない<br><br>○「多良木高校に来て良かった」との自己評価100%を目指す | ○会議や事務を精選して、教職員が生徒に関わる時間を増やす<br><br>○支援学校や小学校、地域の方々との交流する機会を増やす(学校行事の解放、ボランティア活動の充実) | C  | ○進路変更で2人の転学者を出した。<br><br>○体育コース、福祉教養コース、部活動等の単位で地域・支援学校との交流、ボランティアを積極的に行った。 |
|           |       | ○職員がやりがいを感じ、生き生きと働いている学校であるか | ○職員の休職や長期の私傷病を1人も出さない                                       | ○職員の在校時間調査を通し、適正な業務分担となっているか確認する<br><br>○会議や事務の精選を図り、職員が生徒に関わる時間や教材研究、自己研修の時間        |    | B   |

|      |       |  |   |   |                   |   |
|------|-------|--|---|---|-------------------|---|
|      | 安全管理  | <p>○学校管理下での事故が起こらないような対策ができていますか</p> <p>○職員の不祥事が起きる土壌はないか</p>                                    | <p>○校舎内外の危険箇所をなくし、学校管理下での事故をゼロにする</p> <p>○職員が加害者としての交通事故や不祥事が1件もない</p>  | <p>を確保する</p> <p>○校舎内外の危険箇所をなくし、学校管理下での事故をゼロにする</p> <p>○計画的な職員研修を実施し、職員の連帯感を醸成する</p>   | <p>A</p> <p>B</p> | <p>○毎学期、職員全員で安全点検を実施、安全確保に努めた。管理下における事故発生はなく、また日頃の教育活動においても安全に留意している。</p> <p>○職員の交通事故は0件、交通違反が1件発生した。指導をして規範意識の啓発を行った。</p>  |
| 学力向上 | 学力向上  | <p>○適切な内容及び分量の朝自習及び家庭学習課題を課すことにより、学習時間を増やす取組を積極的に行っているか</p>                                      | <p>○1日あたりの平均家庭学習時間を、70分確保</p> <p>○朝自習課題及び家庭学習課題「日々の演習」の全員提出</p> <p>○YEBISUゼミ出席率95%</p>  | <p>○家庭学習時間を記録し、統計や成績との相関を生徒に還元する</p> <p>○未提出者は、放課後に提出するまで指導を行う</p> <p>○学習評価に直結する内容を実施し、動機付けを図る。また、欠席者に指導を行う</p>                       | <p>B</p> <p>A</p> | <p>○1日当たりの平均家庭学習時間は66.7分と目標達成できなかったが、数値は昨年度よりも若干上昇した。目標達成のため、継続した取組を行いたい。</p> <p>○個別指導でほぼ全提出できた。</p> <p>○YEBISUゼミ出席率96.2%（第4回まで）で目標を達成できている</p>                           |
|      |       | <p>○生徒が積極的に授業に取り組む環境作りと教師の分かりやすい授業展開が共になされているか</p>   | <p>○授業に積極的に取り組んでいる生徒及び授業に満足している生徒が共に80%以上（生徒による授業評価アンケート）</p>   | <p>○シラバス等による評価方法の提示、教師によるわかる授業の実践及び教材研究の工夫</p>  |                   | <p>○授業に積極的に取り組んでいる生徒1学期93.6%→2学期93.8%、授業に満足している生徒1学期90.7%→2学期92.4%と目標を達成できた。</p>  |
|      | 授業力向上 | <p>○教師間の相互公開授業や、年2回の生徒を対象にした授業アンケート結果を踏まえ、授業の改善の取組を積極的に行っているか</p> <p>○教師が授業改善の取組を意識しているか。また、</p> | <p>○相互公開授業週間中に最低3回の公開と2回の参観を課し、参観率8割以上</p> <p>○生徒による授業アンケートを年2回実施し、授業改善案の提出を課す</p> <p>○教師の説明がわかりやすいと感じる生徒80%以上。授業が改善されていると感じる</p> | <p>○相互公開授業週間を年2回設定し、参観を促す声かけと、参観状況の確認を行う</p> <p>○期末考査後にアンケート期間を設定し、長期休業中に改善案の作成を依頼する</p> <p>○相互公開授業と生徒アンケートの結果を踏まえ、授業改善を目的とした研修会等</p> | <p>B</p> <p>B</p> | <p>○相互公開授業週間を年2回実施できたが、参観率は76%にとどまった。参観できなかった職員は固定されており、参観を促す工夫が必要だと考える。</p> <p>○生徒による授業アンケートは計画的に実施できた。</p> <p>○授業アンケートより、わかりやすいと感じる生徒は1学期85.8%→2学期86.3%と目標を達成できた。改善</p> |

|              |         |   |   |   |   |
|--------------|---------|---|---|---|---|
|              |         | その環境が整っているか   | じる生徒50%以上<br>○ICT機器を利用していないと感じる生徒4割以下   | の設定<br>○ICT機器の利用環境整備と活用方法の研修の実施   | されたと感じる生徒は43.9%と目標を下回ったが、変わらないと答えた生徒も含めると77.3%であり授業に満足している生徒が9割以上いることを考えると変わらないことも満足度を維持していると考えられる。<br>○授業アンケートより、ICT機器を利用していないと感じる生徒は1学期64.8%→2学期54.5%と減少したものの目標は達成できなかった。更なる利用の促進が求められる。  |
| キャリア教育(進路指導) | 進路意識の高揚 | ○キャリア教育について、キャリアプログラムの見直しができているか<br>○学力向上や資格取得について積極的に取り組むよう意識付けを図っているか<br>○生徒の進路意識を高めるガイダンスやタイムリーな情報の提供が行われているか<br>○生徒の進路希望を具体的に把握し、適切に進路指導ができているか | ○学年や生徒の実態に合ったキャリアプログラムを計画的に実施する<br>○3年次までに生徒全員が一つ以上の資格を取得している<br>○ガイダンスの内容を生徒の実態に応じて見直す。また、キャリアサポーターや企業・上級学校の情報を生徒・職員に提供し、共有する<br>○学期ごとに面談やアンケートを通して生徒の進路希望を把握し、担任・学年団との連携を深め、就職や進学 mismatches を防ぐ。また | ○「総合的な学習の時間」に、学年や進路希望に応じたキャリア教育を、より適切な時期に適切な指導を行う<br>○資格取得に向けた取り組みを各教科に働きかけ、資格の優遇措置等の情報提供を行う<br>○生徒の実情に応じた系統的なガイダンスを計画する。また、企業や上級学校に関する情報の集約と発信を行う<br>○3学年では、学年全体で生徒の進路希望を共有・検討し、適切な対応を図る | ○キャリア教育の観点から、時期に応じた学習プログラムを引き続き検証し、適宜、追加・修正を図る。<br>○今年度3年生の資格取得率(79.1%)は昨年度(93.8%)よりも大幅に低下し、3年生全員取得は達成できなかった。<br>○ガイダンスは学年の意向にも柔軟に対応することができた(実施・中止も含め)。企業等の情報は来校企業からの聞き取りやキャリアサポーター、就職支援員等により集約し、進路ニュースを通して事業所の情報の発信ができた。<br>○3年生の1月までの進路決定率は97.0%で目標を達成することができた。また、特別に支援を要する生徒に対し、組織的な進路支援を実施することができた。今後は未内定 |

|         |                    |  |   |  |  |
|---------|--------------------|--|---|--|--|
|         |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者に対して進路意識を高揚できる手立てが図られているか</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>、3年生の1月までの進路決定率を93%以上とする</li> <li>○保護者への情報の発信を、学年や時期に応じて行う</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料の提供やガイダンスを実施する。また、進路資料「進取」を発行する</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>者への継続支援と他機関への接続などを図る。</li> <li>○保護者に対し、PTA総会や学年保護者会で進路に関する情報の提供を適宜実施し、初期の目標を達成することができた。</li> </ul>  |
| 生徒指導    | 基本的な生活習慣の確立        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全職員で生徒の指導に取り組んでいるか</li> <li>○地域や保護者、中学校等と連携して生徒の指導に取り組んでいるか</li> <li>○多高生としての誇りを持たせる工夫を行っているか</li> <li>○生徒が安心・安全な生活を送る体制づくりができていますか</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全職員による声かけと対話を通し、多高生としての規範意識を高める</li> <li>○指導を通し、保護者との連携を深め、皆で生徒を見守る体制を作る</li> <li>○行事や委員会活動等を通し感動体験の場の提供、「多良木ファミリー」の一員としての高い意識、誇りを育成する</li> <li>○二重ロック率年間95%以上維持、登下校中の交通事故を0件にする</li> <li>○インターネット、SNSを介したトラブルを0件にする</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学期1回の全職員による登校指導、日常的登下校指導、定期的校内巡回指導を行う</li> <li>○指導票による指導</li> <li>○生徒指導部だよりを発行し、生徒、保護者への啓発、情報発信を行う</li> <li>○体育大会、木綿葉フェスタ等の行事や生徒会活動、部活動を通じ、協力して得る感動体験の場を提供する</li> <li>○月1回の駐輪場点検、交通ルールについての日常的指導を行う</li> <li>○交通安全教室を実施する</li> <li>○情報モラルに関するLHRを実施する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全職員での登校指導は1学期のみ実施した。校内巡回指導は、1、2学期に合計3回実施した。</li> <li>○指導票による指導は、期限内未提出は9枚と減少させることができた。(1月末)</li> <li>○体育大会、木綿葉フェスタは、生徒会総務や委員会を中心に工夫し、充実した内容であった。</li> <li>○駐輪場点検は計画的に行えた。二重ロック率は94.7%であった。意識付けが今後の課題である。</li> <li>○スタントマンを用いた自転車交通安全教室を開催できた。</li> <li>○生徒指導部だよりは、昨年度以上のペースで発行できている。6号(1月末)</li> <li>○インターネット・SNSを介したトラブルは特に無い。</li> </ul> |
| 人権教育の推進 | 命を大切にすることを育む指導(人権) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○人権教育や道徳教育のLHRを学期毎に委員会</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各学期毎に学年に応じた内容の人権教育のLHRを設定</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○年間計画に沿って人権教育推進委員会が取り組む</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○人権教育推進委員会を開き、人権教育LHRの計画を立てたが、2学期の</li> </ul>   |

|                    |   |  |   |  |
|--------------------|---|--|---|--|
| <p>・道徳教育をとおして)</p> | <p>の計画のもと取り組んでいるか</p> <p>○職員が生徒を指導する際、言動が人権に配慮したものとなっているか</p> <p>○生徒に人権を尊重する意識が育っているか</p> | <p>する</p> <p>○職員が人権意識や人権尊重の視点を配慮した言動を実践し、体罰や生徒・保護者からの苦情をゼロにする</p> <p>○本校の人権教育が充実しているという生徒が80%以上、生徒の実態に即した人権教育を実践しているという職員が80%いるようにする</p> | <p>○人権教育推進委員会の計画による職員研修を実施する</p> <p>○各学年団、進路指導部、教育支援部等の連携を密にし、学校適応指導・就学保障に取り組む</p>  | <p>B</p> <p>人権LHRは実施できなかった。今後は生徒にとって実り多い内容は何かを、早めに人権教育推進委員会で決定したい。</p> <p>○全職員が人権尊重の視点を配慮した言動を実践している。体罰があったという報告はされていない。引き続きこの姿勢で教育活動に当たりたい。</p> <p>○本校の生徒で、人権教育が充実していると答えた生徒は86%であり、目標を達成した。しかし、人権教育が実りあるものになっていると答えた職員は57%であり、目標値を大きく下回った。各部署と連携を取りながら、生徒にとって実りある人権教育を目指したい。</p> |
| <p>健康教育の推進</p>     | <p>○安全で快適な教育環境を維持するため、自ら進んで周囲の美化に努めることのできる生徒の育成</p> <p>○健康的な食習慣をみにつ</p>                   | <p>○通常掃除の取組姿勢の向上で、環境美化精励賞受賞者を増やす</p> <p>○美化委員会の活性化で、環境リーダーの育成を図る</p> <p>○生徒の食生活の実態を把握し</p>   | <p>○校内放送を行い、掃除時間予鈴での移動開始を100%にする<br/>(生徒も職員も協働の意識で取組む)</p> <p>○委員会を定期で開き、責任を持って担当の仕事に取り組む(生徒主導の活動を行う)</p> <p>○文化祭で食育関連の取り組み</p> | <p>B</p> <p>○2学年となり、掃除区域を縮小して割り当てを行った。職員による監督は熱心に取り組み、開始時間を守らせるための校内放送は1学期、生徒委員が持ち回りでを行い、おおむね守る事ができた。</p> <p>○委員に、節電・節水を促すためのポスターを作成させ教室掲示したが、学校全体に向けての啓発活動が不足した。</p> <p>○委員会の定期開催はできず、連絡のみが多かった。自主的な活動が不足した事が課題である。</p> <p>○文化祭で3年生「フードデザイン」</p>                                  |

|                     |             |   |  |  |   |   |
|---------------------|-------------|---|--|--|---|---|
|                     |             | <p>けさせるために、生徒の食生活の把握と、生徒・保護者への啓発活動が行われているか</p>          | <p>、改善の方向性を探り、学校・家庭・地域が連携して食育に取り組む</p>                                       | <p>を行い、啓発する。<br/>○伝統料理や郷土料理の料理実習を地域と連携し実施する</p>  | B | <p>での取り組みを展示した。<br/>○郷土料理講習は実施できなかったが、郷土料理や伝統料理について授業の中で取り組み、関心を高めることができた。<br/>○保護者への啓発活動は実施できなかった。</p>                             |
| いじめの防止等             | いじめ未然防止     | <p>○全ての生徒が「いじめは決して許されない」ことを理解しているか</p>                  | <p>○いじめの件数を0件にする</p>   | <p>○学校行事等を通して、生徒同士の繋がりを強くする<br/>○心のきずなを深める標語の作成を行う<br/>○情報モラルについて、生徒だけではなく保護者への啓発も行う</p>                   | C | <p>○4件のいじめ事案が起こったことが課題である。<br/>○情報モラル教育を、保護者会の時に保護者と生徒一緒に講習をすることができた。<br/>○心のきずなを深める標語を作成し、生徒会生徒によって優秀作品を選定した。その後、生徒指導部便りで公表した。</p> |
|                     | いじめの早期発見と対応 | <p>○いじめの早期発見と、適切な初期対応がとれているか</p>                        | <p>○「いじめ」による不登校・進路変更者を出さない<br/>○全職員の共通理解の下、徹底した支援と指導を行う</p>                  | <p>○6月、11月にアンケートの実施<br/>○各部署での情報共有の徹底<br/>○校内巡回指導や個人面談の実施<br/>○被害者への支援、加害者への指導を家庭、関係機関とも連携をとりながら徹底していく</p> | C | <p>○アンケートを計画通りに実施し、面談、情報共有もスムーズに行うことができた。それぞれのケースにあわせて、具体的な初期対応をすることができた。<br/>○4件のいじめ事案がおこったが、徹底した支援と指導に関しては課題が残った。</p>             |
| 地域連携（コミュニティ・スクールなど） | 情報の発信       | <p>○PTA会報誌「木綿葉」や「多高ニュース」を通じて保護者や地域の方々に学校のPRにつとめているか</p> | <p>○PTA会報誌「木綿葉」は調査広報委員を中心に4回発行する。「多高ニュース」は6回発行する。中学校にも貼付を依頼し、学校のPR活動に努める</p> | <p>○写真の管理を徹底する。また、レイアウトの方法等を検討する。また、複数の制作者が担当し、紙面の充実を図る</p>  | A | <p>○係と調査広報委員の方々の協力のおかげで、内容が充実したPTA新聞「木綿葉」を発行することができた。また、多高ニュースも縮小しているが、計画的に発行できていた。</p>   |
|                     |             | <p>○保護者への配付物がきちんと保護者の手元に届いているか</p>                      | <p>○配付物が生徒の担当箱等に残っていない</p>   | <p>○重要な文書については、担任に協力してもらい、回収を徹底する</p>  | A | <p>○担任の先生方の協力のおかげで、スムーズに配布、回収することができた。</p>  |

|            |                            |                                    |  |   |  |
|------------|----------------------------|------------------------------------|--|---|--|
| 連携の取組      | ○PTA会員の意識の向上と協力体制が確立できているか | ○PTA総会の出席率を90%以上とする                | ○出欠確認票の完全回収を図るため、提出状況を随時連絡できるようにする       | B | ○PTA総会の出席率は81%と、目標を達成することはできなかった。今後、保護者の方の協力が得られるように、努力したい。  |
|            | ○学校行事への会員の協力体制が強まったか       | ○PTA活動に協力的であるという保護者を60%以上とする       | ○評議員会を活発化し、会員への意識向上の働きかけをお願いする           | B | ○評議委員会では、活発に意見交換された。しかしPTAの活動に協力的であると答えた保護者は54%にとどまった。PTA活動に参加する保護者が限定されているので、もっと保護者がPTA活動に参加したいと思う雰囲気を作りたい。 |
| コミュニティスクール | ○防災型コミュニティスクールとして連携がとれているか | ○非常事態発生時に備えて、警察、消防、地域、中学校等と密な連携をとる | ○学校運営協議会を実施し、防災マニュアルの見直し、新しい防災マニュアルを作成する | A | ○計画通り、学校運営協議会を開催できた。<br>○マニュアル作成に向けて地域との合同での避難訓練を実施することができた。<br>○防災マニュアルの完成が今後の課題である。                        |

**4 学校関係者評価**

○先生方の日頃の頑張りに感謝している。○1年生がいないなか2学年で良く頑張った。○具体的目標の設定が「1人も出さない」「0にする」であるが、設定が高いのではないか、出ると評価は「C」となるので具体的目標の設定を検討するべきでないか。○いじめの発生はどの学年が多いのか。4件は2年生。○多良木高校は常に地域とどのように関わって行くべきかを考えて行動されている。○地域との関わりがとても強い。○学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の取組みとして、地域との合同避難訓練は計画・内容共に素晴らしかった。○来年度は、多良木町内にある中学校として高校と連携して取り組ませていただきたい。○求人状況は、どのような推移になっているのか。年々増加している。（今年1月現在1094件、昨年950件、一昨年732件）○学校行事等は、町内の防災無線等を活用して地域に知らせてほしい。○本校の実態に応じた学力向上のための指標を考えてほしい。○最後の1年頑張ってもらいたい。○地域は今まで通り学校への協力体制がある。○学校から地域へ情報を発信して、協力依頼をしてほしい。○新聞への投稿「若者コーナー」はとても良い取組みであった。

**5 総合評価**

<アンケート対象者別>

1 職員

|                             |              |
|-----------------------------|--------------|
| (1) ポイントが高い項目               |              |
| 13 行事の充実                    | 79.7 (+6.9)  |
| 20 開かれた学校づくり                | 76.8 (-1.0)  |
| 19 部活動は活発で好影響               | 73.9 (-1.4)  |
| (2) ポイントが低い項目               |              |
| 5 仕事上の連携                    | 13.0 (-7.9)  |
| 14 人権教育の取組                  | 13.0 (+6.9)  |
| (3) ポイントが伸びている項目 (10ポイント以上) |              |
| 3 校務分掌のバランス                 | 24.6 (+20.9) |
| 2 本校目標の達成に向けての取組            | 71.0 (+17.9) |

|  |  |              |      |      |
|--|--|--------------|------|------|
| 1  | 本校目標を生徒や保護者に伝えている  | 44.9 (+11.6) |      |      |
| (4)  | ポイントが落ち込んでいる項目 (10ポイント以上)  |              |      |      |
| 18   | 校内美化   | 42.0 (-20.9) |      |      |
| 11   | 進路目標達成のための見通した指導   | 44.9 (-13.1) |      |      |
| 7  | 授業時数の確保  | 56.5 (-11.4) |      |      |
| 2  | 生徒   |              |      |      |
| (1)  | ポイントが高い項目  |              | 2年   | 3年   |
| 11   | 学校行事は充実している  | 70.4 (-2.5)  | 63.7 | 77.1 |
| 12   | 図書館は利用しやすい   | 65.4 (+6.7)  | 45.1 | 86.1 |
| 1  | 校訓が言える   | 64.0 (-0.8)  | 58.8 | 69.2 |
| 15   | 部活動に積極的  | 64.0 (-0.8)  | 63.7 | 64.2 |
| (2)  | ポイントが低い項目  |              |      |      |
| 3  | 授業の教え方・説明が分かりやすい   | 28.4 (-0.5)  | 22.5 | 34.3 |
| (3)  | ポイントが伸びている項目   |              |      |      |
| 17   | 配布物を確実に保護者に渡している   | 62.5 (+17.2) | 59.8 | 65.2 |
| 16   | ボランティア活動に積極的   | 38.3 (+12.5) | 44.1 | 32.3 |
| 14   | 互いの意見を尊重し合うようにしている   | 56.5 (+11.6) | 55.9 | 57.2 |
| 2  | キャッチフレーズ「志高く～」が言える   | 52.6 (+10.4) | 43.1 | 62.2 |
| (4)  | ポイントが落ち込んでいる項目・・・特になし  |              |      |      |
| (5)  | その他  |              |      |      |
|  | ・学年を追う毎に総合ポイントが大きく伸びている。   |              |      |      |
| 3  | 保護者  |              |      |      |
| (1)  | ポイントが高い項目  |              | 2年   | 3年   |
| 3  | 入学させて良かった  | 70.0 (-3.3)  | 64.6 | 75.4 |
| 2  | 保護者や地域から信頼されている  | 68.2 (+6.7)  | 67.2 | 69.2 |
| 19   | 部活動は活発で好影響   | 66.9 (+10.7) | 64.6 | 69.2 |
| (2)  | ポイントが低い項目  |              |      |      |
| 17   | P T A 活動に協力的   | 10.9 (+3.0)  | 3.0  | 1.6  |
| (3)  | ポイントが伸びている項目   |              |      |      |
| 10   | 健康・安全教育に力を入れている  | 61.5 (+11.9) | 62.1 | 61.0 |
| 19   | 部活動は活発で好影響   | 66.9 (+10.7) | 64.6 | 69.2 |
| 6  | 生徒指導は適切  | 57.3 (+10.0) | 51.5 | 63.1 |
| (4)  | ポイントが落ち込んでいる項目・・・特になし  |              |      |      |
|  | ※ポイントの算出法「 $A \times 1 + B \times 1/3 + C \times (-1/3) + D \times (-1)$ 」 |              |      |      |
| <p>「行事の充実」に関する値は職員と生徒共に高く、「キャッチフレーズが言える」値も伸びていることから、「感動体験」を通じた教育活動が実施できている。部活動に関する項目も、生徒と保護者ともに伸びが大きく、職員も含め高い値が出ており、部活動が本校教育活動に与えている影響は大きい。また、職員の「開かれた学校づくり」の項目の値が高く、保護者の「保護者や地域から信頼されている」の項目の値も高いことから、「地域に根ざし、地域に開かれた学校づくり」に向けた取組は十分にできていることがうかがえる。</p> <p>一方、生徒の「授業の教え方・説明が分かりやすい」の項目が依然低く推移しており、一人一人の教育的ニーズに応じた指導が不十分であると考えられる。学力向上に向けて効果的な授業を実施するために、公開授業や研究授業、授業評価アンケート等を積極的に活用したい。</p> |  |              |      |      |

| 6 次年度への課題・改善方策 |   |
|----------------|---|
| 学校活性化          | 転退学者等の進路変更を1人も出さない。<br>月の実働勤務時間数が80時間を超える職員を出さない。特定の職員に負担が偏らないように努める。 |
| 学力向上           | 平均家庭学習時間を70分確保させる指導を行う。   |
| 進路意識           | 資格取得率のアップを図る指導を行う。就職内定辞退や早期離職を未然に防ぐ指導を行う。                             |
| 生徒指導           | 学校行事の工夫を行い、感動体験の場を提供する。インターネット・SNSを介したトラブルについて徹底指導を行う。                |
| 人権教育           | 一人一人を大切にす人権尊重の視点で、教育活動を行う。  |
| いじめ防止          | いじめを許さない指導、アンケート等を実施しいじめの早期発見・早期対応を行う。                                |
| 地域連携           | 学校運営協議会を更に充実させ、地域との連携を図り、防災意識を持たせ、非常事態発生時に備える。                        |